

K U D O N E W S

第36期 報告書 自平成18年7月1日 至平成19年6月30日

第21号

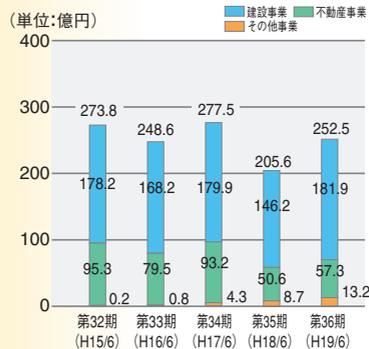
私たちは、常に時代を読み、新しい市場・技術・サービスを開発し、
フローレンスブランドを確立します。



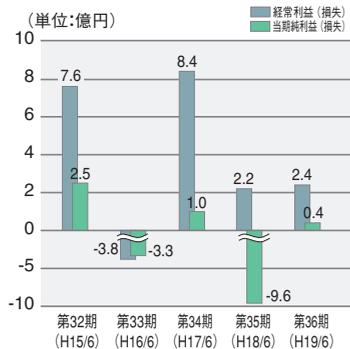
工藤建設株式会社

	第32期 (H15/6)	第33期 (H16/6)	第34期 (H17/6)	第35期 (H18/6)	第36期 (H19/6)
	(単位：億円)				
売上高	273.8	248.6	277.5	205.6	252.5
経常利益 (△経常損失)	7.6	△3.8	8.4	2.2	2.4
当期純利益 (△当期純損失)	2.5	△3.3	1.0	△9.6	0.4
総資産	240.3	226.4	206.8	195.5	188.1
株主資本	38.1	34.1	33.9	22.4	22.2
	(単位：円)				
1株当たり					
純資産額	293.35	263.08	261.20	184.81	182.91
当期純利益 (△当期純損失)	19.79	△26.03	8.38	△74.25	3.19
配当金	10	10	10	5	5

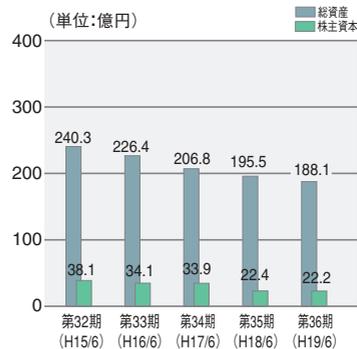
■ 売上高 (部門別)



■ 経常利益(損失)/当期純利益(損失)



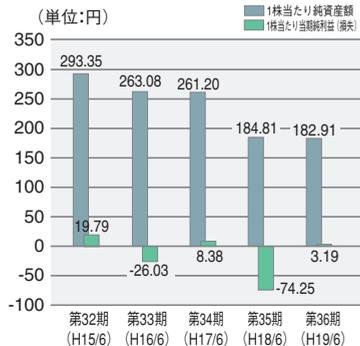
■ 総資産 / 株主資本



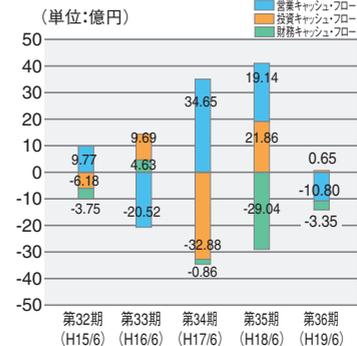
■ 自己資本比率



■ 1株当たり純資産額 / 1株当たり当期純利益(損失)



■ 連結キャッシュ・フロー





代表取締役社長 工藤 英司

工事の減少基調が続く一方、民間工事は企業収益の改善を受け堅調に推移したものの、一段と増す受注競争に加え、資材価格の上昇・労務の逼迫等の要因から、工事利益確保に一層の努力を要するなど、経営環境は厳しい状況にあります。

このような情勢のなか、当社グループは、神奈川・東京を営業エリアとし、「地域の人々に対して全てのライフステージにわたって居住し続けられる“住まい”を提案する。」ことを実現するために事業展開をはかってまいりました。

建設事業におきましては、賃貸マンションのオーナー様による「賃貸経営オーナー会」との親交を中心に地域密着の営業を行い、設計・施工における品質重視の建設を行ってまいりました。

大型地下室付き住宅を中心とする設計・施工を行う住宅部門におきましては、地元「横浜」のみならず、県外のお客様からの受注を含め順調に推移いたしており、「フローレンスガーデン」ブランドの確立に向けて事業の拡大をはかってまいりました。

また、「無印良品」が企画・販売する「木の家」のモデルハウスを1月に、そして、鉄筋コンクリート（RC）造の戸建て住宅「ラ・リビエラ」のモデルハウスを4月にオープンし、個人住宅部門の強化をはかってまいりました。

介護事業におきましては、「フローレンスケアたかつ」「フローレンスケア美しが丘」「フローレンスケアたまプラーザ」「フローレンスケア港南台」「フローレンスケアホーム宿河原」の5施設に加え、7月からは、「フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘」の運営を開始し、「ひと

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、公共投資は減少基調が続いたものの、企業収益の改善や、生産・輸出の増大を背景に民間設備投資が引き続き増加基調をたどるとともに、雇用情勢や個人消費も堅調に推移し、景気は民需を中心に緩やかであるものの、拡大傾向を維持しました。

当社が属します建設業界におきましては、官公庁工

り一人の心地よさを追求する」ことを原点に、ご入居者の方々に温かな癒しの場と、思いやりの真心をご提供する施設計画・運営を行ってまいりました。

また、子会社である(株)日建企画は港北ニュータウン内の新本社に移転し、たまプラーザ店・市が尾店・仲町台店・恵比寿店・横浜西口店・中山店の7店舗の営業を行い、賃貸マンション等の顧客獲得と不動産資産活用の情報収集を行っております。

当連結会計年度における当グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高は252億54百万円（前連結会計年度比22.8%増）、経常利益は、2億44百万円（前連結会計年度比8.6%増）、そして、当期純利益は、41百万円（前連結会計年度当期純損失9億64百万円）となりました。

これを事業別のセグメントで見ますと、建設事業につきましては、売上高181億94百万円（前連結会計年度比24.4%増）、営業利益は、6億41百万円（前連結会計年度比14.0%減）となりました。不動産事業につきましては、売上高57億32百万円（前連結会計年度比13.2%増）、営業利益は、4億82百万円（前連結会計年度比63.8%増）となりました。また、介護事業につきましては、売上高13億23百万円（前連結会計年度比52.3%増）、営業利益は、1億10百万円（前連結会計年度営業損失56百万円）となりました。

次に、当社単独の業績といたしましては、売上高は、207億85百万円（前期比23.2%増）、経常利益は、85百万円（前期比175.2%増）、当期純利益は、19百万円（前期当期純損失8億89百万円）となりました。

当社は、利益配分につきましては、企業体質の強化・充実並びに将来の事業展開等を勘案し、また、安定的かつ継続的に利益還元を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当期の業績及び今後の経営環境等を総合的に勘案し、1株当たり普通配当を2円50銭として実施させていただきます。

建設業を取りまく環境は、依然として厳しい状況にありますが、当社グループは、事業競争力、収益力の一層の向上に向け、一丸となって努力を続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お客様の多様なニーズにお応えし、 戸建て住宅事業を強化します。

戸建て住宅建築を希望されるお客様の様々なニーズにお応えするため、魅力的な商品の企画や品揃えを拡充していきます。

特建事業部

～夢をデザインするRC自由設計の家「ラ・リビエラ」～

家を建てる時、いちばん大切なことは何でしょうか。ご家族それぞれのライフスタイルや住まい方に合った間取り、日々の快適さ・便利さ、そしてデザインへのこだわりや、耐久性・耐震性も妥協できない大切な要素です。しかし、それらの要件を満足させ、希望どおりの住まいを建てるとなると、工法やコストの上で多くの制約が生じることもまた事実です。そこで注目していただきたいのがRC工法の家。

RC工法はデザインの自由度が他の工法とは比較にならないほど高く、どんなフォルムでもどんな間取りでも、思いどおりに設計が可能です。それだけに、コストの問題さえクリアできれば、わが家も鉄筋コンクリートのRC工法で建てたいという声が多く聞かれます。『ラ・リビエラ』は、そんな施主様の願いに応えるため、デザインから施工まで一貫した自社対応によりトータルコストを低減。従来にはない自由自在な家づくりを、従来にはないコストパフォーマンスで提供します。



特建事業部へのお問い合わせ

TEL 045-910-0506

ホームページ <http://www.la-riviera.jp/>

フローレンスガーデン事業部

～事業部名を変更し、よりブランド色を鮮明に打ち出します～

大型地下室や2×6工法等、フローレンスガーデンならではの、ワンランク上のライフスタイルをご提案いたします。

～「住みがい」を追求します～

施主様をご招待する、「フローレンスガーデン感謝祭」をはじめ、お引渡後も、お住まいになられる方の「住みがい」の向上のために様々なサービスやサポートを充実させてまいります。



～練馬営業所がオープンしました～

以前より多くのお問い合わせを頂いており、施工実績も豊富な城西・武蔵野エリアにおけるサービスを、より一層充実させるために、練馬営業所を平成19年9月に開設しました。

フローレンスガーデン事業部へのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-045-910
ホームページ <http://www.florence-garden.com>

ムジ・インフィル事業部

～無印良品の家「木の家」に、都市型住宅「窓の家」が加わりました～

無印良品の家「木の家」横浜都筑店は、平成19年1月のモデルハウスオープン以来、多くのお客様にご来場いただき、「木の家」を体感していただいております。

堅牢な構造躯体や住宅の性能を変えずに、外観デザインを変えた「窓の家」がバリエーションに加わりました。

無印良品の家「木の家」横浜都筑店
ムジシルシ イコー
フリーダイヤル 0120-6404-15



「暮らしと風景をつなぐ家」窓の家

「人と、ひとつながりの家」木の家

■ 連結貸借対照表 (要旨) (平成19年6月30日現在)

科目	当連結会計年度 第36期	前連結会計年度 第35期
(単位：百万円)		
(資産の部)		
流動資産	9,764	10,770
固定資産	9,054	8,785
有形固定資産	4,452	4,123
無形固定資産	227	280
投資その他の資産	4,375	4,381
資産合計	18,819	19,556
(負債の部)		
流動負債	11,560	11,648
固定負債	4,578	5,232
負債合計	16,138	16,881
(純資産の部)		
株主資本	2,224	2,248
資本金	867	867
資本剰余金	549	549
利益剰余金	893	917
自己株式	△86	△85
評価・換算差額等	150	151
その他有価証券評価差額金	150	151
少数株主持分	305	274
純資産合計	2,680	2,674
負債・純資産合計	18,819	19,556

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (要旨) (自平成18年7月1日 至平成19年6月30日)

科目	当連結会計年度 第36期	前連結会計年度 第35期
(単位：百万円)		
売上高	25,254	20,564
売上原価	22,060	17,964
売上総利益	3,193	2,599
販売費及び一般管理費	2,705	2,340
営業利益	487	259
営業外収益	82	282
営業外費用	325	316
経常利益	244	224
特別利益	8	77
特別損失	0	747
税金等調整前当期純利益 (△損失)	252	△445
法人税、住民税及び事業税	104	100
法人税等調整額	64	332
少数株主利益	41	86
当期純利益 (△損失)	41	△964

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(自平成18年7月1日 至平成19年6月30日)

科目	当連結会計年度 第36期	前連結会計年度 第35期
(単位：百万円)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,080	1,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	65	2,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△2,904
現金及び現金同等物の増加・減少額	△1,350	1,195
現金及び現金同等物の期首残高	3,655	2,459
現金及び現金同等物の期末残高	2,304	3,655

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自平成18年7月1日 至平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
平成18年6月30日 残高	867	549	917	△85	2,248	151	274	2,674
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△64	—	△64	—	—	△64
当期純利益	—	—	41	—	41	—	—	41
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△1	31	29
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△23	△0	△24	△1	31	5
平成19年6月30日 残高	867	549	893	△86	2,224	150	305	2,680

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度 (自平成17年7月1日 至平成18年6月30日)

科目	建設事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
(単位：百万円)						
売上高及び営業損益売上高						
外部顧客に対する売上高	14,626	5,064	873	20,564	—	20,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	12	—	15	(15)	—
計	14,630	5,076	873	20,580	(15)	20,564
営業費用	13,884	4,781	926	19,592	712	20,305
営業利益 (△営業損失)	745	294	△52	987	(728)	259
資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	4,762	7,860	524	13,147	6,408	19,556
減価償却費	14	102	17	134	32	166
減損損失	—	558	—	558	8	567
資本的支出	19	728	183	930	3	933

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分であります。

2 各事業区分に属する主な事業内容

- (1) 建設事業：建築・土木その他建設工事全般に関する事業
- (2) 不動産事業：不動産売買、賃貸に関する事業
- (3) 介護事業：高齢者福祉事業
- (4) その他事業：保険代理店業務等

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は前連結会計年度748百万円、当連結会計年度793百万円であり、その主なものは、提出会社本社の経営管理部に係る費用であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は前連結会計年度6,408百万円、当連結会計年度4,359百万円であり、その主なものは、提出会社での余資運用資金、長期投資資金及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度 (自平成18年7月1日 至平成19年6月30日)

科目	建設事業	不動産事業	介護事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
(単位：百万円)							
売上高及び営業損益売上高							
外部顧客に対する売上高	18,194	5,732	1,323	4	25,254	—	25,254
セグメント間の内部売上高又は振替高	161	12	—	—	173	(173)	—
計	18,355	5,744	1,323	4	25,427	(173)	25,254
営業費用	17,714	5,261	1,212	0	24,188	577	24,766
営業利益 (△営業損失)	641	482	110	4	1,239	(751)	487
資産、減価償却費及び資本的支出							
資産	5,288	8,484	683	3	14,459	4,359	18,819
減価償却費	14	105	43	—	162	34	197
資本的支出	175	393	9	—	578	0	578

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(事業区分の変更方法)

「介護事業」に関する事業の重要性が増してきたことから事業活動をより適確に開示するため、従来「その他事業」に含めておりました「介護事業」を当連結会計年度より区分掲記することとしました。

■ 単体貸借対照表 (要旨) (平成19年6月30日現在)

科目	当期 第36期	前期(参考) 第35期
	(単位：百万円)	
(資産の部)		
流動資産	8,166	9,422
固定資産	8,530	8,313
有形固定資産	4,123	3,894
無形固定資産	129	152
投資その他の資産	4,277	4,267
資産合計	16,696	17,736
(負債の部)		
流動負債	10,318	10,561
固定負債	4,216	4,962
負債合計	14,534	15,524
(純資産の部)		
株主資本	2,021	2,067
資本金	867	867
資本剰余金	549	549
利益剰余金	690	735
自己株式	△86	△85
評価・換算差額等	140	143
その他有価証券評価差額金	140	143
純資産合計	2,161	2,211
負債・純資産合計	16,696	17,736

■ 単体損益計算書 (要旨) (自平成18年7月1日 至平成19年6月30日)

科目	当期 第36期	前期(参考) 第35期
	(単位：百万円)	
売上高	20,785	16,866
売上原価	19,091	15,703
売上総利益	1,694	1,162
販売費及び一般管理費	1,380	1,143
営業利益	313	19
営業外収益	78	297
営業外費用	306	285
経常利益	85	31
特別利益	8	2
特別損失	—	576
税引前当期純利益(△損失)	94	△542
法人税、住民税及び事業税	11	13
法人税等調整額	62	332
当期純利益(△損失)	19	△889

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

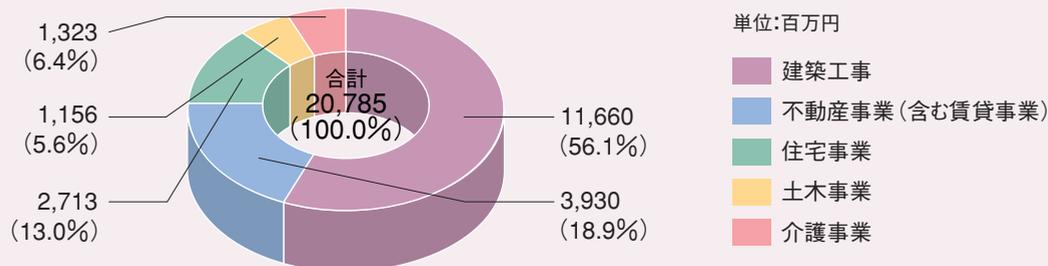
当期 (自平成18年7月1日 至 平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金 合計				
		資本 準備金	利益 準備金	特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金					
平成18年6月30日 残高	867	549	149	1	1,200	△614	735	△85	2,067	143	2,211
事業年度中の変動額											
特別償却準備金の取崩	-	-	-	△1	-	1	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△64	△64	-	△64	-	△64
当期純利益	-	-	-	-	-	19	19	-	19	-	19
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	△0	△0	-	△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△3	△3
事業年度中の変動額合計	-	-	-	△1	-	△44	△45	△0	△46	△3	△49
平成19年6月30日 残高	867	549	149	-	1,200	△658	690	△86	2,021	140	2,161

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

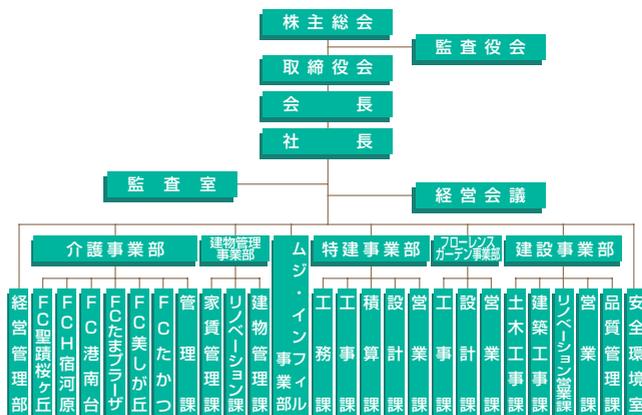
■ 単体売上高構成比



■ 会社概要 (平成19年7月1日現在)

商号	工藤建設株式会社
設立	昭和46年7月1日
代表者の氏名	工藤 英司
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数	316名 (男子 187名、女子 129名)
事業所	
本社	横浜市青葉区新石川4-33-10
東京支店	東京都港区浜松町2-1-16 (第3粕谷ビル)
多摩営業所	東京都町田市南大谷1327-153
戸塚営業所	横浜市戸塚区名瀬町2189-1 (プロデュースヨコハマ内)
フローレンスケアたかつ	川崎市高津区久末1744-2
フローレンスケア美しが丘	横浜市青葉区美しが丘4-43-4
フローレンスケアたまプラーザ	川崎市宮前区犬蔵2-17-65
フローレンスケア港南台	横浜市港南区港南台6-5-13
フローレンスケアホーム宿河原	川崎市多摩区宿河原6-12-29
フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘	東京都府中市日新町5-53-1

■ 組織図 (平成19年7月1日現在)



■ 役員及び執行役員 (平成19年9月28日現在)

取締役相談役	工藤 五三
取締役会長	工藤 次郎
代表取締役社長	工藤 英司
取締役	栗原 正治
常勤監査役	阿久津 治男
監査役	八重沢 知正
監査役	奥原 章男
常務執行役員	神田 良雄
執行役員	石田 米治 (営業担当)
執行役員	工藤 隆司 (建設事業部長)
執行役員	工藤 隆晃 (建物管理事業部長)
執行役員	藤井 研児 (介護事業部長)
執行役員	小坂橋 洋之 (フローレンスガーデン事業部長)
執行役員	仁木 克己 (特建事業部長)
執行役員	山中 栄二 (ムジ・インフィニティ事業部長)
執行役員	遠藤 知明 (経営管理部長)

■ 連結子会社の状況 (平成19年6月30日現在)

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株) 日建企画	50	40	建物総合管理業、不動産の売買・賃貸・仲介及び管理業、各種建設工事業、電気設備工事業、損害保険の代理店業他
(株) サンビルド	50	40	分譲マンションに関する建物総合管理業
(株) 東洋リース	10	40	建築機械及び建築資材のリース業並びにレンタル業、とび工事業
(株) みらいテクノハウス	50	40	工務店経営のマネジメント及びコンサルタント業務 建築物の構造、工法等に関する技術開発等
(株) PAG	10	—	不動産の売買・賃貸・仲介業

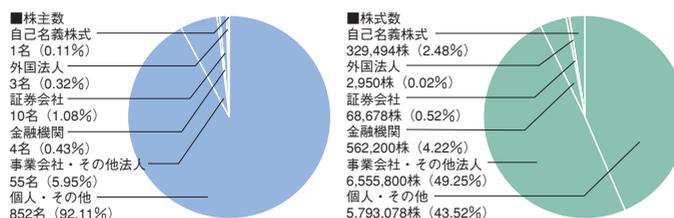
■ 株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000 株
発行済株式の総数	13,312,200 株
株主数	925 名

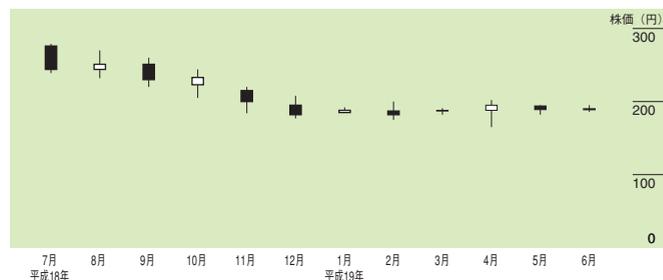
■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社 トップ	5,720	42.97
工藤五三	1,080	8.11
工藤英司	559	4.20
工藤隆司	558	4.19
株式会社横浜銀行	391	2.94
工藤次郎	370	2.78
工藤建設株式会社	329	2.48
八重沢知正	190	1.43
今博文	184	1.38
株式会社三井住友銀行	114	0.86

■ 所有者区別別株式分布状況



■ 株価チャート



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
期末配当金	毎年6月30日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された株主（実質株主を含む）または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により、中間配当を実施する場合は、毎年12月31日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された株主（実質株主を含む）または登録株式質権者にお支払いいたします。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告。ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載。 公告掲載アドレス http://www.kudo.co.jp/

東京都に初めて施設がオープンしました。



介護付有料老人ホーム
フロレンスケア
聖蹟桜ヶ丘



平成19年7月、中央自動車道国立府中インターチェンジの近くに、「フロレンスケア」として6番目の施設となる、「フロレンスケア聖蹟桜ヶ丘」をオープンいたしました。

この施設は78床の介護付有料老人ホームで、ご入居者の状況によりフロア構成をする「ユニットケア方式」を採用し、介護のスタッフも担当制とすることで、ご入居者お一人おひとりの笑顔を大切にしたいサービスを提供させていただきます。

お問い合わせは

工藤建設株式会社 介護事業部 ホームページ：<http://www.good-care.jp/>
フロレンスケア入居相談室：【フリーダイヤル】0120-050-910

ホームページへのアクセスを
お待ちしております。

情報満載！

工藤建設のWEBサイトは、お客様とのコミュニケーションのコアとして、充実した情報を提供。物件の紹介・販売にも大きな役割を果たしています。

<http://www.kudo.co.jp/>

